THE JOURNAL OF OHARA INSTITUTE **FOR SOCIAL RESEARCH**

Monthly Research Meeting

February 2011

Special Issue: The Current State of Research on Philanthropy:
Literature Review (2)
India: Philanthropy as Fundraising and Activities of NGOsINOUE Takako
China and Hong Kong: Focusing on Characteristic Chinese Society
HOKARI Hiroyuk
Japan: Problems of Present and Historical Research into Philanthropy in Japan OSUGI Yuka
Studies on Philanthropy: Past, Present and Future TAKADA Minoru
Jewish Philanthropy and Social Development in Europe: Result
from a Case Study on the Rothschild Family (19 th & 20 th c.)Klaus Weber
Book Reviews
KUMAZAWA Makoto, Working Hard Only to DieKAYAMA Rika
Ohara Institute for Social Research, SUZUKI Akira ed.,
Neoliberalism and LabourTABATA Hirokun
ENSHU Hiromi ed., A Ticket toward the Low-carbon Society OHIRA Yoshio
Bibliography of Publication on Labour and Social Issues

OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

4342 Aihara, Machida-shi, Tokyo, 194-0298, Japan web site: http://oisr.org

e-mail: oharains@s-adm.hosei.ac.jp

編集(兼)発行人 法政大学大原社会問題研究所 〒194-0298 東京都町田市相原町4342 TEL 042 (783) 2305~7

定価1,000円(本体952円)

大原社会問題研究所雑誌

<u></u>	【特集】フィランスロピーに関する研究動向の整理と文献紹介(2)			
二 八 号	インド――資金調達としてのフィランス	ロピーとNGOの活動	井上貴子	1
_	中国および香港――中国人社会の個性に	に注目して	帆刈浩之	10
【 特 集	日本――フィランスロピー研究における現状分析と歴史研究の課題			
			大杉由香	17
ノ イ	フィランスロピー研究の成果と課	題	高田 実	24
ラ ン	ヨーロッパのユダヤ人フィランス	ロピーと社会発展		
ス	ク	ラウス・ヴェーバー/:	金澤周作訳	30
フィランスロピーに関する研究動向の整理と文	■書評と紹介			
に	熊沢誠著『働きすぎに斃れて』		香山リカ	47
関 す	法政大学大原社会問題研究所・鈴	木玲編『新自由主皇		41
, る 	(4) 以及八丁八州 14 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	사가에 마시티니그	田端博邦	50
究	遠州尋美編著『低炭素社会への選	択	大平佳男	57
動 向		1/_1	八十日力	31
の 敕	社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会	問題研究所	61
理し	月例研究会			
こ 文	所 報 2010年10月			

発 行/法政大学大原社会問題研究所

法政大学一口坂別館内 TEL 03 (5214) 5540 郵便振替口座 00160-6-95814

六

大原社会問題研究所創立90周年·旬報社創立60周年 記念企画

法政大学大原社会問題研究所 編集

開国から現在まで 一。わが国の150年にわたる 社会・労働問題を正確に解説。

付約 中

刊行記念特価 18,900円 (本体 18,000円+税) (2011年7月31日まで)

定価21.000円(本体20.000円+税)



A5判上製 函入り 1,200頁

〒112-0015 東京都文京区目白台 2-14-13

【特色と編集上の工夫】

わが国の近現代の社会・労働問題を 理解するために必要な5600項目を正 確に解説。

引きやすい50音配列、充実した関連 項目、写真・図版の多用などで使い やすさを追求。

つ 設立以来、社会・労働問題を記録し 続けてきた大原社会問題研究所が、 350名の研究者の協力を得て編集。

内閣・国政選挙・政党・労働組合等の 変遷図および経済・労働に関わる統 計資料などを収録。検索機能も充実。

大原社会問題研究所編集の『日本労 働年鑑』、『新版社会·労働運動大年 表』等の蓄積を生かし、1400用語を 新たに加えて、最新の研究成果に基

TEL03-3943-9911 FAX03-3943-8396

日本労働研究雑誌

No. 607 2011年特別号

定価 895円 年間購読 10.740円

2010年労働政策研究会議報告 非正規雇用をめぐる政策課題 2010年労働政策研究会議準備委員会責任編集

【パネルディスカッション】 非正社員活用の多様化と均衡処遇――パートと契約社員の活用を中心に 非正社員の企業内訓練についての分析 非正規労働者の声を活かす――組織化の事例から 非正規雇用をめぐる政策課題――労働法の視点から 【自由論題セッション ● A グループ 【論文】 【論文要旨】 スウェーデンの労使関係 企業レベルの賃金交渉の分析から 産業別労働協約の分散化によるドイツ型労使交渉の諸要素の変容と行方 一労働組合と経営協議会を中心に ドイツにおけるワーク・ライフ・バランスと非典型雇用 企業のワーク・ライフ・バランス施策は「新たな報酬」か? ーワーク・ライフ・バランス施策と企業への帰属意識の関係からの考察 西村純 陳浩 田中洋子 【論文】 高村静 ●Bグループ 【論文】 労働契約の規制手法としての任意法規の意義と可能性

— "default rules" をめぐる学際的研究からの示唆
企業組織再編における労働関係の移転

— ドイツ民法典613a条および組織再編法における労働関係移転の検討
韓国における就業規則による労働条件の不利益変更
経済のグローバル化が目韓の労働者にもたらす影響の総合的研究

一労働力の非正規化と家族の変化が所得に与える影響 坂井岳夫 成田史子 朴孝淑 【論文要旨】 ● C グルーフ 【論文要旨】 【論文】 馬放於 藤波栄 大田中 長田 長田 長 日本における仕事満足度の決定要因およびその雇用形態間の差異 嘱託(再雇用者)社員の人事管理の特質と課題——60歳代前半層を中心にして 技術部門における仕事管理 ――戦略的人的資源管理の視点を踏まえて 営業支援職の組織内キャリア形成――コンサルティング会社 A 社の事例研究

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23

☎ 03-5903-6255

Digest of Science of Labour

2011. Mar.

第66巻第3号

定価1.100円・年間予約12.000円 送料84円

- ●特集/"健康会計"入門 ー健康増進の費用対効果を考える
- ◆巻頭言<俯瞰>健康増進活動の経済的評価 武藤孝司 ◆労働安全衛生における健康会計の 意義と課題 森 晃爾 ◆CSRと健康-健康 会計の役割 河野敏鑑 ◆安全衛生コスト算出 ツールの開発 永田智久 ◆日本ユニシスグル ープにおける健康増進活動 多田 哲 ◆大阪 ガスにおける健康増進活動 岡田邦夫
- ◆職場のいじめ・暴力・ハラスメント防止対策 ・3 なぜセクハラはなくならないのか?
- ◆GP-広がる良好実践・3 2050年の学校づ くりをめざして 畑山 弘
- ◆産業安全保健エキスパート-職場の実践・2 「モデル現場活動」で進む活性化 … 椎名和仁
- ◆産業安全保健エキスパート-見る・活動・3 富士通株式会社 ……… 石山明美
- ◆メーカーとつないで・2 柴田科学株式会社 労研式マスクフィッティングテスターの改良 と活用 ………………… 小山博己
- ◆つくること・たべること 仕事と食事・2 僕の仕事は世話人 …… 森 行雄

(財)労働科学研究所出版部 (労研出版)

➡ 〒216-8501 神奈川県川崎市宮前区菅生2-8-14 電話 044 (977) 2121 代)振替 00100-8-131861